

宗教の価値とソーシャルワーク専門職の価値観

—米国のユダヤ教ソーシャルワーク史からの考察—

○ 敬和学園大学 田中 利光 (会員番号 004294)

キーワード：ユダヤ教ソーシャルワーク、価値、同化

1. 研究目的

本研究の目的は、ユダヤ教ソーシャルワークの基盤にある宗教的価値と、ユダヤ教ソーシャルワーク専門職の価値観について、主として欧州からの移民ユダヤ人たちが、米国社会への同化策として、宗教の価値とソーシャルワーク専門職の価値の調和を、どのようにして図ってきたのかを、米国のユダヤ教ソーシャルワーク史から考察する。

2. 研究の視点および方法

(1) 研究の視点

ユダヤ教ソーシャルワークの専門職教育は、実質的には1916年のニューヨークにおける School for Jewish Communal Work の設立を嚆矢とする。ユダヤ教における他者援助の思想的背景に経典タルムードがあり、マイモニデス (Maimonides, Moses 1135-1204) はそれを体系化した。マイモニデスの援助の理念は、その後のユダヤ教ソーシャルワークの理念となって受け継がれている。第一次大戦を大きな境にして、欧州のユダヤ人たちの多くは米国に移民として入ってくるようになった。ユダヤ人たちの多くは米国への同化を目指した。それはユダヤ民族の過去の歴史から学んだ民族の生き残り策でもあった。1950年代になると宗教の価値とソーシャルワーク専門職の価値観との間で大きな葛藤が生じるようになった。そこで、コーズ (Kohs, Samuel C.) らによってソーシャルワークの価値研究が本格化することになった。

(2) 研究の方法

本研究では宗教的価値とソーシャルワーク専門職の価値観の課題に彼らがどう取り組んだのかを、ユダヤ教ソーシャルワーク教育の側面から考察する。具体的には、ユダヤ教のソーシャルワーク訓練校として米国に最初に設立された School for Jewish Communal Work とコロンビア大学との関わりを中心に、ユダヤ人の米国への同化策を、彼らのアイデンティティの課題に対しソーシャルワーク専門職の価値観との融和がどのように図られてきたのかを考察する。

3. 倫理的配慮

本研究及びその発表においては、日本社会福祉学会の「研究倫理規程」「研究倫理規程にもとづく研究ガイドライン」及び「学会発表に関する注意事項」を遵守している。

4. 研究結果

(1) ユダヤ慈善の宗教的価値

マイモニデスの『ミシュネ・トーラー (*Mishneh Torah*)』で体系化されたユダヤ慈善は『ペアー篇 (*Peah*)』を中心とするタルムードの規定に依拠している。マイモニデスによる援助の理念はユダヤ人移民によって米国にもたらされた。それは今日のユダヤ教ソーシャルワークに引き継がれた。その中には宗教的価値の導入も含まれている。

(2) 葛藤と調和

米国における初期のソーシャルワークの価値研究を、ユダヤ教ソーシャルワークは先導した。それは宗教的価値とソーシャルワーク専門職の価値観との融合が、同化策を押し進めるユダヤ人にとって、どうしても解決しなければならない課題であったからである。ユダヤ教の立場から価値研究に取り組んだものとして以下の研究がある。

- ① クツィック (Kutzik, Alfred J.) は 1959 年に、ユダヤ教の価値とユダヤ教ソーシャルワーク専門職の価値観の調和は可能であると説いている。
- ② コーズ (Kohs, Samuel C.) は 1966 年に、いくつかの宗教 (等) のソーシャルワークの価値について論じている。その中で、ソーシャルワークにおける宗教的価値の重要性を指摘している。
- ③ レヴィ (Levy, Charles S.) は 1976 年に、ユダヤ教ソーシャルワーク専門職が、ユダヤ教特有の価値観を持ちながらソーシャルワーク専門職の価値観を併せ持つ必要性について論じている。
- ④ リンザー (Linzer, Norman) は 1996 年に、ソーシャルワーク専門職の価値観とユダヤ教の価値との分類を行い、両者に共通する部分を提示している。

5. 考察

研究結果からみえてきたものとして、次の点を挙げることができる。

- ① 米国のユダヤ教ソーシャルワーク史において、宗教の価値はことさら強調された。しかしながら、ソーシャルワーク専門職の価値観と矛盾するとみるのではなく、両者の共通点を見出すことに努めてきた。そこには同化という課題があった。(しかし、そのため、宗教の価値を軽視するという批判がユダヤ教指導者から強くあり、両者の間には軋轢があった。)
- ② そのため、ユダヤ民族の一員としての自覚と宗教的価値観を軽視したりすることなく、宗教の援助観を支える価値と、その実践に当たる際の専門職としての価値観に共通する部分を模索していった。両者に共通する部分を探す作業は難しいものではなかった。両者はどちらも、人間が生まれながらにして持っている価値と尊厳を重視するという点で一致すると捉えたからである。